

第19回坊っちゃん文学賞 最終審査通過作品と表彰式について

1 最終審査通過作品

作品名（よみがな）	筆名（よみがな）	住所	年齢
嘘つきは透明のはじまり （うそつきはとうめいのはじまり）	草間 小鳥子 （くさま ことりこ）	神奈川県	35
ジャイアントキリン群 （じゃいあんときりんぐん）	そるとばたあ	神奈川県	37
空色ネイル （そらいろねいる）	内池 陽奈 （うちいけ ひな）	東京都	23
幻島 （まぼろしじま）	霜月 透子 （しもつき とおこ）	神奈川県	非公開
メトロポリスの卵 （めとろぼりすのたまご）	石原 三日月 （いしはら みかづき）	神奈川県	非公開
野次馬スター （やじうますたー）	中乃森 豊 （なかのもり ゆたか）	千葉県	非公開

※ 作品名の五十音順で並んでいます。

※ 年齢は表彰式（令和5年2月21日）時点です。

※ 本人の希望で、住所や年齢を一部非公開にしています。

【田丸雅智 審査員長からのコメント】

今年も7,000作を超える多数のご応募に感謝いたします。
最終候補作に残った20作品は今年もハイレベルで、
ありがたい悲鳴をあげる中、白熱した議論の末に審査員一同が納得できる
素晴らしい受賞6作品を送りだすことができました。
その6作の披露、そして大賞の発表も楽しみにしててください。

2 大賞の発表と表彰式について

(1) 開催日

令和5年2月21日(火曜日)

(2) 参加予定者

- ・ 審査員3名
- ・ 最終審査通過6名
- ・ 松山市長 野志 克仁

(3) 内容

- ・ 挨拶：松山市長 野志 克仁、審査員長 田丸 雅智
- ・ 結果発表（大賞1名、佳作5名）
- ・ 表彰状の授与
- ・ 受賞者、審査員のコメント

※ 表彰式は報道機関の方が入れます（一般の方は入れません）。

※ 詳細は決まり次第、お知らせします。

3 作品の応募状況

(1) 募集期間

令和4年5月1日（日曜日）～令和4年9月30日（金曜日）

(2) 応募総数

- ・ 作品数 : 7,026点（前回6,952点）
- ・ 応募者数 : 3,912名（前回4,208名）

(3) 応募作品数内訳

- ・ 年代別

	今回	前回
10代以下	866	465
20代	1,739	1,808
30代	1,232	1,388
40代	887	964
50代	827	879
60代以上	792	860
無記入等その他	683	588
合計	7,026	6,952

※ 最年少応募者 愛媛県松山市在住 8歳（小学3年生）

最年長応募者 長野県在住 93歳

- ・ 職業別（応募の多かった職業上位5件）

今回		前回	
学生	879	会社員	1,829
会社員	741	学生	745
無職	501	無職	470
主婦	280	アルバイト	309
パート、アルバイト	153	主婦	292

・ 地域別

	今回	前回
北海道	173	141
東北	195	225
青森	16	26
岩手	30	28
宮城	73	83
秋田	19	32
山形	9	17
福島	48	39
関東	3,244	3,171
茨城	94	66
栃木	105	73
群馬	63	79
埼玉	354	604
千葉	354	353
東京	1,515	1,286
神奈川	759	710
中部	871	848
新潟	169	135
富山	28	29
石川	39	48
福井	33	16
山梨	40	30
長野	161	86
岐阜	38	62
静岡	100	136
愛知	263	306
近畿	1,139	1,153
三重	66	65
滋賀	63	63
京都	152	202
大阪	515	429
兵庫	262	278
奈良	59	74
和歌山	22	42
中国	186	400
鳥取	19	21
島根	24	31
岡山	45	69
広島	65	218
山口	33	61
四国	727	536
徳島	49	44
香川	42	32
愛媛	604	423

(うち松山市)	309	275
高知	32	37
九州	418	433
福岡	222	223
佐賀	10	14
長崎	31	21
熊本	51	36
大分	23	43
宮崎	31	25
鹿児島	31	32
沖縄	19	39
海外	60	41
不明	13	4
合計	7,026	6,952

・ 応募方法別

	今回	前回
WEB	6,247	5,816
郵送	779	1,136
合計	7,026	6,952

・ これまでに本賞への応募の有無（初応募者の割合）

	今回		前回	
	人数	割合	人数	割合
有	2,326	59.5%	1,403	33%
無	1,487	38%	2,723	65%
未記入	99	2.5%	82	2%
合計	3,912	100%	4,208	100%

第 19 回坊っちゃん文学賞 募集要項

ここはあなたの「文学の入り口」です。アイデアとそれを生かした印象的な結末のあるショートショートに応募をお待ちしています。

募集作品

- ・ 4,000 字以内のショートショートを募集します。
- ・ テーマは問いません。あなたの想像力を作品に生かしてください。
- ・ 日本語で書かれ、未発表で筆者自身のオリジナルな作品に限ります。

応募資格

- ・ 年齢、職業、国籍、プロ・アマは問いません。

応募方法・募集締切

- ・ インターネットでの応募: 令和 4 年 5 月 1 日(日)8 時 30 分から 9 月 30 日(金)23 時 59 分までに、公式サイトのお応募フォーム(<https:// bocchan-shortshort-matsuyama.jp>)から応募してください。
- ・ 郵送での応募: 令和 4 年 5 月 1 日(日)から 9 月 30 日(金)(必着)までに、作品タイトル、著者名(公開可能な名前)、本名、生年月日、職業、郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス(あれば)、賞を知った経緯、過去の坊っちゃん文学賞応募の有無を書いて、〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-12-8-2F パシフィックボイス「第 19 回坊っちゃん文学賞」係へ。応募原稿の体裁、書式、縦書き、横書きは自由です。

審査員

審査員: 田丸雅智、大原さやか、山戸結希 アンバサダー: 白濱亜嵐

賞

大賞(1 名): 賞金 50 万円 佳作(5 名): 賞金 10 万円

発表・表彰式

- ・ 結果発表と表彰式は令和 5 年 2 月を予定しています。
- ・ 最終審査を通過した作品の作者へは直接通知します。
- ・ 受賞者は表彰式にご出席ください(旅費は松山市が負担します)。報道機関からの写真撮影やインタビューへのご協力をお願いします。
- ・ 大賞作品は雑誌「ダ・ヴィンチ」に掲載します。

注意事項

- ・ 1 人で何作品でも応募できます。
- ・ 応募作品は返却しません。
- ・ 大賞、佳作受賞作品の著作権は松山市に帰属します。
- ・ 選考に関するお問い合わせには応じられませんのでご了承ください。
- ・ これまでにWEB上へ掲載したことがある作品は未発表とはみなしません。
- ・ 作品に個人情報や実在の企業名等を使用することや、他の文学賞などへの二重投稿はご遠慮ください。

お問い合わせ

松山市役所 文化・ことば課

電話 089-948-6634 ファクス 089-934-1913

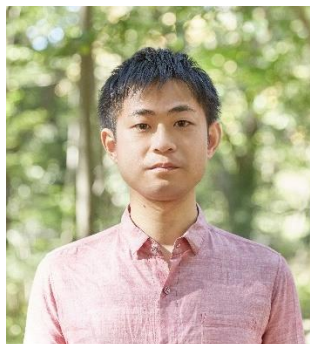
メール bocchan@city.matsuyama.ehime.jp

第19回坊っちゃん文学賞 審査員・アンバサダー

審査員長 田丸 雅智 (たまる まさと)

1987年、愛媛県松山市生まれ。松山東高、東京大学工学部、同大学院工学系研究科卒。現代ショートショートの旗手として執筆活動に加え、坊っちゃん文学賞などにおいて審査員長を務める。また、全国各地で創作講座を開催するなど幅広く活動している。ショートショートの書き方講座の内容は、2020年度から小学4年生の国語教科書(教育出版)に採用。17年には400字作品の投稿サイト「ショートショートガーデン」を立ち上げ、さらなる普及に努めている。著書に『海色の囁』『おとぎカンパニー』など多数。メディア出演に情熱大陸、SWITCH インタビュー達人達など多数。

田丸雅智 公式サイト:<http://masatomotamaru.com/>



審査員 大原 さやか (おおはら さやか)

声優、ナレーター。主な出演作は「xxxHOLiC」(壱原侑子)、「FAIRY TAIL」(エルザ・スカーレット)、「美少女戦士セーラームーン」(海王みちる・セーラーネプチューン)、「Fate/zero」(アイリスフィール)、「ARIA」シリーズ(アリシア・フローレンス)等多数。第7回声優アワード助演女優賞受賞。au(携帯電話)留守番電話サービス音声や、京王線・京急線など関東圏5割以上の私鉄ホームアナウンスを20年以上担当。自身のライフワークである朗読番組「月の音色～radio for your pleasure tomorrow～」はインターネットラジオステーション音泉にて好評配信中。



審査員 山戸 結希 (やまと ゆうき)

映画監督。2012年、上智大学哲学科在学中に『あの娘が海辺で踊ってる』でデビュー。2016年、小松菜奈・菅田将暉W主演の長篇『溺れるナイフ』が60万人以上を動員し、20代女性の監督作品における前例なきヒットとなった。2018年、企画・プロデュースを務めたオムニバス映画『21世紀の女の子』が、東京国際映画祭に特別招待。2019年、『ホットギミック ガールミーツボーイ』がNetflixにて世界190カ国に配信。2021年放送の『生きるとか死ぬとか父親とか』にて、テレビドラマ初監督を務める。RADWIMPS、乃木坂46、back numberら多数アーティストのミュージックビデオの映像監督も務め、ジャンルを超えたみずみずしい映像表現に定評がある。



アンバサダー 白濱 亜嵐 (しらはま あらん)

1993年8月4日生まれ、愛媛県松山市出身。

2012年11月、GENERATIONS from EXILE TRIBE パフォーマーとしてメジャーデビュー。2014年4月にEXILE新パフォーマーに決定し、EXILEに加入。

GENERATIONSのリーダーも務め、EXILE/PKCZ®と兼任しながら活動している。

また、俳優としての主な出演作にはドラマ「シュガーレス」、「GTO」、「小説王」、「M 愛すべき人がいて」、映画「ひるなかの流星」、「コンフィデンスマン JP プリンセス編」、「10万分の1」などにも出演。

さらにDJ(楽曲制作)としても活動し、マルチに活動の場を広げている。



(参考資料) 第 18 回までの坊っちゃん文学賞

開催年	回	応募数	大賞・受賞者	大賞・作品名	備考
S63～ H元	第1回	1,386	月本 裕	『今日もクジラは元気だよ』 (改題: キャッチ)	
H2～3	第2回	740	中脇 初枝	『魚のように』	受賞時は高校3年生。その後、坪田譲治文学賞(2013年)や2016年本屋大賞3位など
H4～5	第3回	1,057	光山 明美	『土曜日の夜～ The Heart of Saturday Night』	
			巖谷 藍水	『ノスタルジア』	受賞時は高校3年生
H6～7	第4回	1,164	敷村 良子	『がんばっていきまっしょい』	1998年映画化、2005年テレビドラマ化
H8～9	第5回	1,037	大武 完	『映写機カタカタ』	
H10～11	第6回	910	長屋 潤	『マジックドラゴン』	
H12～13	第7回	811	鬼丸 智彦	『富士川』	
			瀬尾 まいこ	『卵の緒』	『そして、バトンは渡された』で2019年本屋大賞受賞
H14～15	第8回	1,008	浅井 柑	『三度目の正直』	受賞時は高校3年生
H16～17	第9回	1,067	大沼 紀子	『ゆくとし くとし』	
H18～19	第10回	1,048	甘木 つゆこ	『タロウの鉗子』 (改題: はさんではさんで)	
			ふじくわ 綾	『右手左手、左手右手』	
H20～21	第11回	1,138	村崎 えん	『なれない』	
H22～23	第12回	1,057	真枝 志保	『桃と灰色』	
H24～25	第13回	1,060	桐 りんご	『キラキラハシル』	
H26～27	第14回	911	卯月 イツカ	『名もない花なんてものはない』	
H28～29	第15回	小説 854	鈴川 紗以	『ルカの麒麟』	15回の節目と子規・漱石生誕150年を記念し、ショートショート部門を設置
		ショートショート 1,087	塚田 浩司	『オトナバー』	
R元	第16回	5,628	高野 ユタ	『羽釜』	『ひゃくいろ節眼鏡』で株式会社ベルモニー presents ショートショートコンテスト最優秀賞受賞(2020年)
R2	第17回	9,318	山猫軒従業員・ 黒猫	『ドリームダイバー』	
R3	第18回	6,952	椿 あやか	『月光キネマ』	

○ 平成元年の市制100周年を記念して、昭和63年から、斬新な作風の青春文学小説の募集を開始。全国の多くの市が市制100周年を迎え、記念事業として文学賞を開催する中で、「坊っちゃん文学賞」は自治体文学賞の先駆けとなった。

○ 審査員は椎名誠氏(審査員長)、早坂暁氏、景山民夫氏、中沢新一氏、高橋源一郎氏の5名で開始。平成10年に景山氏が死去、平成29年に早坂氏が死去。

○ 第15回までは2カ年事業として実施。初年度は募集、翌年度は審査・発表を行う。第16回からは、ショートショートの文学賞としてリニューアルし、毎年実施。

○ 第4回大賞の『がんばっていきまっしょい』のように映画化やテレビドラマ化される作品も生まれるなど、新人作家の登竜門ともなり、「ことばと文学のまち松山」を代表する取り組みの一つ。

○ 第7回大賞の瀬尾まいこ氏が『そして、バトンは渡された』で2019年本屋大賞を受賞。

○ 第15回から第17回受賞のショートショート作品を収録した書籍『夢三十夜』が令和3年6月に出版。